



宗四小だより

開校40周年

新たな歴史と伝統をつくる

11月号

志木市立宗岡第四小学校

志木市上宗岡1-1-2

048-473-5250

<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数 518名 令和2年10月23日発行



目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



「通知表活用術～子どもを励まし・伸ばすために～」

校長 高柳 政行

「集中力がついてきました。」「友達ができたことを、認めるっていいですね。」「〇〇さんは優しく教えてくれていましたね。」これらの言葉は、わたしが教室訪問をしている際に担任が子ども達に話していた言葉です。これらの発言を聞いていた子ども達は、笑顔になったり、はにかんだりしていました。そして、教室では、主体的に学習に取り組む様子が見られるようになっていきました。もちろん、いいことばかりでなく、「今は、お話しを聞く時間です。」「今の言葉はふざけすぎです。」など、子どもたちが注意される場面も少なくありません。このようにプラス面やマイナス面も含め、認め励まし適切な指導が繰り返されるなかで子どもたちは育っていきます。学校は、このような日々の授業や生活場面で様々なドラマが展開され、共に学び合いながら学びに向かう力、そして、優しさや思いやりなどの豊かな人間性までも育まれていく場所です。

学校教育法第30条2項には、学力の重要な3つの要素が示されています。それは、①基礎的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体的に学習に取り組む態度です。平成19年6月の学校教育法の改正により、法律によって明確に学力が示されました。また、今年度から本格実施となりました新学習指導要領でもこの学力観のもとに、児童に育成すべき3つの資質・能力（詳しくは学校だより6月号を参照）を定め、その評価の観点（通知表をご覧ください）も同様に3つ設けることにしたのです。

ここで、重要なのは、主体的に学習に取り組む態度も学力なのだということです。そして、その根っこには、学びに向かう力や人間性などがあるということです。これら3つの学力をバランスよく育成していくことが、これからの変化の激しい社会を生き抜く力につながっていくのです。



10月30日に配付する予定の通知表の学習の記録も上述した学力観をもとにした評価の観点に基づきお子さんの状況が記載してあります。「よかった、悪かった」という見方ではなく、どの教科のどんな学力で子どもの力が発揮されたのか、どんな成果が上がったのかなど、子どもの努力の様子をご確認ください。また、行動の記録では、あいさつ、整理整頓、友達との協力などの面から評価しています。行動の状況は学習面での意欲や成果につながる大切な要素です。

たくさんほめられた子どもは、人のよさにも気づき、人を認める子どもに育っていくものではないでしょうか。通知表を一つのきっかけとして、学校生活について子どもと会話を交わし、学習面、行動面等のよさを認め励ます機会にさせていただきたいと考えております。